

文部科学省21世紀COEプログラム
愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)

「現代中国政治とアジア世界平和構築」研究会

労働行政と共産党政権の統治能力

講師：小嶋 華津子 氏 (筑波大学講師)

司会・コメンテーター：加々美 光行 (本学教授・ICCS所長)

概要：

国有企業改革、私営企業・外資企業の参入にともなう労働市場の流動化により、中国の都市部には「下崗」労働者、失業者、民工など経済的・政治的弱者層が生まれつつある。

工会をチャンネルとする労働者の権益擁護の官製ルートは、事実上破綻している。私営企業・外資企業の工会組織率は低く、利益集団としての再生を目指す工会改革の動きも、「社会主義」という国是、地方政府の投資獲得至上主義、工会幹部の既得権益への固執など工会内外の抵抗を受け進まない。

官製ルートに見切りをつけた労働者による直接行動は、通信手段の充実、市民の関心の高まりにより、大規模化、洗練化の趨勢にある。また、一部の争議は、地元政府への批判をも孕んでいる。加えて、SA8000 認証の導入議論に象徴される労働問題の国際化も、当局への圧力となる。

中央及び地方政府は、法定最低賃金の引き上げや民工への権益保障など、対策を講じ始めているが、その効果は楽観できない。市場経済化の恩恵から排除された多数の労働者に対し、地方・末端レベルにおける有効な利益の表出・解決ルートを提供できるか否かが、胡錦濤政権及び中国共産党にとって、その統治能力を立証し、一党支配体制を存続させるための試金石となっている。

2006年3月18日(土) 13:00～16:00
愛知大学車道校舎 本館11階K1106教室

* 講演は日本語でおこないます。(通訳あり) * 申し込み不要

【お問い合わせ先】愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)事務室

〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹 370

Tel : 0561-36-5637 (内線 2862) Fax : 0561-36-5422 (内線 2869)

聴講無料

主催：愛知大学国際中国学研究センター